

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長  
(公印省略)

病害虫発生予察注意報について

令和5年度病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

---

令和5年度病害虫発生予察注意報第3号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 病害虫名 黒穂病
- 3 発生地域 多良間島
- 4 注意報発令の根拠  
多良間島における10月上旬の調査の結果、夏植え及び株出しの発病ほ場率は93.8%、発病株率10.2%であり、一部ほ場で発病株率35.5%と多発していた(図1)。
- 5 発生生態および被害
  - (1) 病原体は糸状菌の一種で、黒穂上の胞子は風や雨水で分散し、地上芽や地下芽に感染する(図2)。
  - (2) 罹病茎は健全茎よりも草丈が長く細い。先端部は長い鞭状体(いわゆる黒穂)となる(図3)。
  - (3) 発生は4月頃から見られ、6～7月に多くなる。8月に発生は少なくなるが、10月頃から再び増加する傾向がある。
  - (4) 株出し回数が多くなるほど多発生となる傾向がある。
  - (5) 罹病株から採苗すると植付後に発病し新植ほ場へ広がる。
- 6 防除上注意すべき事項
  - (1) 発病株は鞭状体の出現前に抜き取り焼却を行う。
  - (2) 鞭状体の出現した茎は、胞子の飛散を防ぐために、ビニール袋をかぶせて抜き取り処分する(図4)。
  - (3) 発病ほ場や隣接ほ場から採苗しない。
  - (4) 植付け時に薬剤により苗を消毒する。
  - (5) 株出により黒穂病が多発したほ場や放棄ほ場は早急に更新する。
  - (6) 抵抗性品種を植え付けるようにする。



図 1 多発ほ場（矢印は罹病茎を示す）

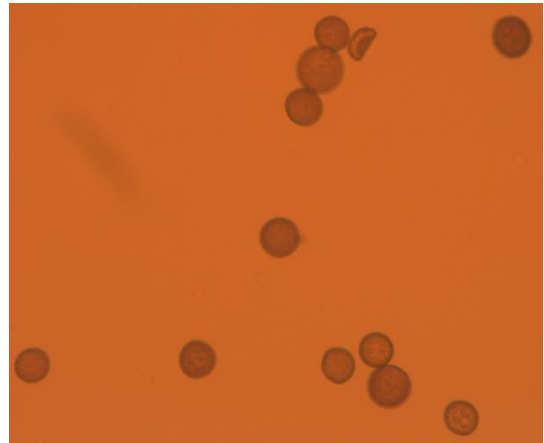


図 2 孢子



図 3 罹病株（鞭状体）



図 4 抜き取り処分の様子

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0908-82-4933  
ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>